令和4年度三重短期大学外部評価委員会 報告書

1 日 時 令和4年7月28日(木) 17時00分～18時50分

2 場 所 三重短期大学管理棟2階 演習室1

3 出席者

(1) 外部評価委員 出席5名

栗原委員長、伊藤委員、上田委員、仲委員、福井委員

(2) 事務局 出席8名

村井学長、國分事務局長、川邊事務局次長兼大学総務課長、木下学生部長、藤枝図書館長兼地域連携センター長、大畑法経科長、阿部食物栄養学科長、南生活科学科長

4 委員のご意見

- ・大学敷地内の定期的な草の刈り込みや掃除の実施、防犯カメラや照明の適切な設置が必要ではないか。
- ・発達障害やその他様々な配慮が必要な学生に対して、入学前（入試時）、入学後（学生生活及び進路指導）に細やかな対応が必要ではないか。
- ・「アセスメントポリシー」が確定すれば、外部評価委員会に資料を提出し、大学HPにアップロードすべきではないか。
- ・全国の定時制高校へのPRは良いことだと思う。併せて専修学校や通信制高校へもPRしてはどうか。
- ・短期大学では長期インターンシップは難しいと思うが、短期であってもインターンシップの単位化を検討してはどうか。
- ・対策を強化している高校も多い中、公立の大学でもあるので、公務員試験対策を強化して合格者を増やす取り組みをしてはどうか。
- ・校舎棟トイレは整備されたが、来客の使用頻度の高い管理棟トイレの洋式化が必要ではないか。また駐車場の白線の引き直し、蛍光灯のLED化が必要ではないか。
- ・入学前教育は非常に大切で、各大学が様々に工夫している。オープンキャンパス時のミニ講義だけではなく、通常講義の開放（授業参観）を検討してはどうか。
- ・ふるさと納税の返礼として、短大独自の企画（講座や講義の受講、学食で使用可能な食券など）を検討してはどうか。

5 提言

- 18歳人口減少への対応策、PR方法の検討が今後の課題となる。学生1人1人が広告塔であり、津市立であるメリットを活かして津市の行事に積極的に参画する、新聞等のメディアを活用するなど、認知度アップに努めてもらいたい。
- 卒業生の満足度が非常に高い。学生の協力も得ながら、高い満足度をもっとうまくPRしてもらいたい。
- 津市以南の地域（津市、中勢、南勢、伊賀・東紀州）出身の学生が少ない。この地域から優秀な学生が入学すれば、北勢地域からの入学者増にも繋がりを。津市以南の地域の学生の受け皿になれるよう工夫が必要ではないか。
- 入学生アンケートの「志望動機」の中で「家族や先生の勧め」の割合が低い。一方、卒業生満足度調査では、以前低かった「職員の対応」に対する評価が高くなっている。より良い大学になるよう努力されている部分をもっとうまくPRしてもらいたい。
- 卒業生満足度調査で「4年制大学に劣らない教育水準」との評価がある点は貴重だと思う。この評価が新入生アンケートにも反映されていくことが望ましい。
- 卒業生満足度調査で「自分の人間的成長についての満足度」を問う項目があるが、問い方に工夫が必要ではないか。ディプロマポリシーに掲げる目標を学生がどれだけ修得できたかを問えば、その達成度からどのような教育が今後必要か、自ずと明らかになる。
- 「アンケート」が結果と分析報告で終わっている。それを基にどのように改善しようと努力しているのか、検討の方向性まで明示すればより良い報告書になるのではないか。